

アスリート委員会名簿

役職	氏名	競技
委員長	高橋 尚子	陸上競技
副委員長	河合 純一	水泳
委員	穴井 隆将	柔道
	池田 信太郎	バドミントン
	上山 容弘	体操
	及川 晋平	車椅子バスケットボール
	大畑 大介	ラグビー
	小宮 正江	ゴールボール
	齋藤 里香	ウエイトリフティング
	菅原 智恵子	フェンシング
	杉山 愛	テニス
	関根 明子	トライアスロン
	高倉 麻子	サッカー
	田口 亜希	射撃
	土田 和歌子	陸上競技
	萩原 智子	水泳
	萩原 美樹子	バスケットボール
	廣瀬 隆喜	ボッチャ
	不老 安正	クレール射撃
松永 共広	レスリング	
三浦 恵子	ホッケー	



アスリート委員会が関係する 大会エンゲージメント活動について

WG 1 の取組状況

◆所管事項

- ・アクション&レガシープラン（スポーツ・健康分野）の推進
- ・大会エンゲージメントの推進

◆取組状況

① 大会エンゲージメント活動への協力

- ・都内や被災地でのフラッグツアーイベントへの参加
⇒P.2~9でアスリート委員が参加したフラッグツアーセレモニーの紹介
- ・東京マラソンEXPO2017でのステージイベントの実施

② パートナー企業等との連携

- ・パートナー企業との共同スポーツイベントの実施
- ・委員会のアクションアイデア具現化に向けた意見交換の実施

WG 1 の取組状況 – 大会エンゲージメントの推進 –

東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー〈都内区市町村〉

- 組織委員会、東京都、JOC、JPCは、2月18日（土）、
「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」の一環として、
東京都青梅市において、フラッグ歓迎セレモニーを開催。
- 高橋委員長コメント
「会場での声援が多くのアスリートにとって限界を超える最後の一押しになります。
是非、応援・観戦に会場に来てください。皆さんの応援が選手の力になります。
青梅から東京2020大会を盛り上げていきましょう！」

実施日時：2017年2月18日（土）

実施場所：青梅市総合体育館

参加アスリート委員：高橋 尚子 委員長



WG 1 の取組状況 – 大会エンゲージメントの推進 –

東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー〈都内区市町村〉

- 組織委員会、東京都、JOC、JPCは、2月24日（金）、
「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」の一環として、
東京都豊島区において、フラッグ歓迎セレモニーを開催。
- 池田委員コメント
「オリンピック・パラリンピックは、200か国以上の方々が日本に訪れること
となります。この機会に是非、豊島区から大きなムーブメントを起こせる
よう皆さまの協力を期待しております。」

実施日時：2017年2月24日（金）

実施場所：豊島区役所1Fセンタースクエア

参加アスリート委員：池田 信太郎 委員



WG 1 の取組状況 – 大会エンゲージメントの推進 –

東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー〈都内区市町村〉

- 組織委員会、東京都、JOC、JPCは、3月4日（土）、
「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」の一環として、
東京都文京区において、フラッグ歓迎セレモニーを開催。
- 池田委員コメント
「2008年の北京大会では、まずオリンピックという大舞台に感動し、
2012年のロンドン大会では、観客やボランティアの受入れの素晴らしさが
印象に残っています。」

実施日時：2017年3月4日（土）

実施場所：文京シビックセンター区民のひろば

参加アスリート委員：池田 信太郎 委員



WG 1 の取組状況 – 大会エンゲージメントの推進 –

東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー〈都内区市町村〉

- 組織委員会、東京都、JOC、JPCは、3月18日（土）、
「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」の一環として、
東京都江戸川区において、フラッグ歓迎セレモニーを開催。
- 田口委員コメント
「江戸川区はカヌー・スラローム競技会場となっております。
東京2020大会に向けて、皆さんの関心の高さをオリンピック・
パラリンピックへの応援に繋げてほしい。」

実施日時：2017年3月18日（土）

実施場所：タワーホール船堀

参加アスリート委員：田口 亜希 委員



WG 1 の取組状況 – 大会エンゲージメントの推進 –

東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー〈都内区市町村〉

- 組織委員会、東京都、JOC、JPCは、4月29日（土）、
「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」の一環として、
東京都三鷹市において、フラッグ歓迎セレモニーを開催。
- 田口委員コメント
「パラリンピックは競技のことをまだまだ知らない方も多いと思いますので、
まずは2020年までに開かれるパラリンピック種目の競技大会会場に足を
運んでいただき、競技や選手を知り、応援していただければと思います。」

実施日時：2017年4月29日（土）

実施場所：三鷹中央防災公園・元気創造プラザ

参加アスリート委員：田口 亜希 委員



WG 1 の取組状況 – 大会エンゲージメントの推進 –

オリンピック・パラリンピックフラッグ歓迎イベント〈岩手県遠野市〉

- 組織委員会と東京都は、2月28日（火）、
「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」の一環として、
岩手県遠野市において、フラッグ歓迎セレモニーを開催。
- 萩原委員からのオリンピック・パラリンピックの素晴らしさを伝える講演、
体育館でのボールを使ったレクリエーションなどを通じて、
子どもたちにオリンピック・パラリンピックの価値や
東京2020大会の魅力等を伝えることができた。

実施日時：2017年2月28日（火）

実施場所：遠野市立遠野東中学校

参加アスリート委員：萩原 美樹子 委員



Photo by Tokyo 2020

WG 1 の取組状況 – 大会エンゲージメントの推進 –

オリンピック・パラリンピックフラッグ歓迎イベント〈宮城県石巻市〉

- 組織委員会と東京都は、3月6日（月）、
「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」の一環として、
宮城県石巻市において、フラッグ歓迎セレモニーを開催。
- 関根委員からの講演では、一流のアスリートはみんな夢に向かって努力をしていること
などが語られた他、体育館では正しい姿勢で楽に走るレクチャーなどが行われ、
子どもたちにオリンピック・パラリンピックの価値や東京2020大会の魅力等を
伝えることができた。

実施日時：2017年3月6日（月）

実施場所：石巻市立貞山小学校

参加アスリート委員：関根 明子 委員



Photo by Tokyo 2020

WG 1 の取組状況 – 大会エンゲージメントの推進 –

オリンピック・パラリンピックフラッグ歓迎イベント〈熊本県熊本市〉

- 組織委員会と東京都は、5月31日（水）、
「東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」の一環として、
熊本県熊本市において、フラッグ歓迎セレモニーを開催。
- 齋藤委員からのオリンピックへの挑戦を題とした講演、体育館でのウエイトリフティングの
動作を取り入れた実技体験などを通じて、子どもたちにオリンピック・パラリンピックの
価値や東京2020大会の魅力等を伝えることができた。

実施日時：2017年5月31日（水）

実施場所：熊本市立帯山中学校

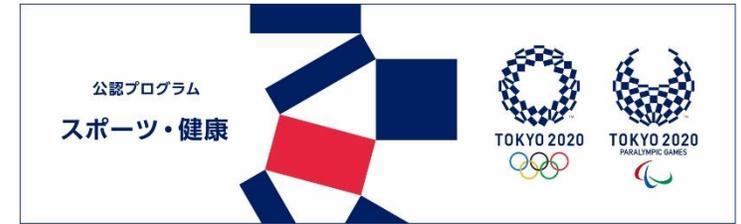
参加アスリート委員：齋藤 里香 委員



Photo by Tokyo 2020

WG 1 の取組状況 – 大会エンゲージメントの推進 –

アスリート・スペシャル・トークセッション2017 「スポーツの力でみんなが輝く社会へ」



- 昨年に引き続き、組織委員会は、2月25日(土)一般財団法人東京マラソン財団の協力を得て、東京マラソンEXPO2017の会場において、リオパラリンピック銅メダリスト 芦田創選手をゲストに招いたステージイベントを開催した。
- リオ2016大会でのアスリートの活躍を振り返り、オリンピック・パラリンピックの競技の魅力や東京2020大会への思いなどについて、トークショーを実施した。

実施日程：2017年2月25日(土)

実施場所：東京ビッグサイト

参加アスリート委員：高橋委員長、田口委員

ゲストアスリート：芦田 創選手

(リオパラリンピック銅メダリスト)



WG 1 の取組状況 – 今後の取組に向けた意見交換等 –

アスリート委員とパートナー企業等関係団体との意見交換

- アスリート委員会の「アクション・アイデア」について、アスリート委員会と連携を希望するパートナー企業数社とアイデア具現化を視野に、意見交換を行った。
- 今後も引き続き委員とパートナー企業とで意見交換を行い、アイデアの具現化を目指していく。

実施日程：2017年6月7日（水）

アスリート委員会：高橋委員長、河合副委員長、
齋藤委員、菅原委員、
関根委員、田口委員、
不老委員

関係団体等：パートナー企業数社



WG 1 の取組状況 – 今後の取組に向けた意見交換等 –

パートナー企業との個別ミーティング

- WG1での意見交換を受け、アスリート委員会と日本電気株式会社(NEC)とで、具体的なアクションについて意見交換を行った。
- この結果、7月14日(金)のNECの創立記念日に開催されるNECの社員を対象とする社内ワークショップに、アスリート委員会から田口 亜希委員がパネリストとして出演することになった。
- ワークショップは、田口委員から、パラリンピックでの経験、アスリート委員会での活動や東京2020大会に向けた想いを講演する予定。

実施日程：2017年7月6日(木)

実施場所：NEC本社ビル内会議室

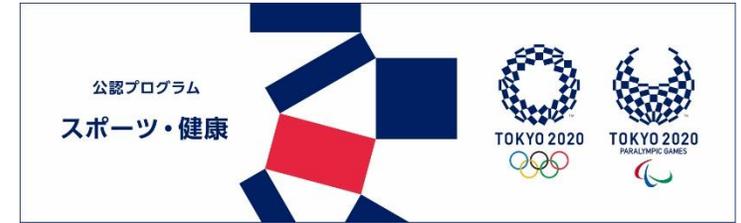
アスリート委員会：高橋委員長

河合副委員長



WG 1 の取組状況 – 大会エンゲージメントの推進 –

「GOLD SPORT DAY 2017」 スポーツで、僕らはひとつになれる。



- 東京2020ゴールドパートナー11社は、組織委員会と協力して、自らがスポーツの価値を感じつつ、東京大会のムーブメントを推進することを目的とした、初の合同運動会「GOLD SPORT DAY 2017」を、開催した。
- 当日は、パートナー企業11社及び組織委員会から企業から、家族をあわせて総勢約2千人が集まり、アスリート委員のほか、各企業に所属しているアスリート達と一緒に、運動会でよく知られている「玉入れ」や「リレー」等を行った。

実施日程：2017年6月18日（日）

実施場所：幕張メッセ

共同主催(50音順)：

株式会社アシックス / JXTGエネルギー株式会社

東京海上日動火災保険株式会社 / 日本生命保険相互会社

日本電気株式会社 / 日本電信電話株式会社

野村ホールディングス株式会社 / 富士通株式会社

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

三井不動産株式会社 / 株式会社明治

参加アスリート委員：高橋委員長、

河合副委員長、

関根委員、田口委員





アクション&レガシープラン2017及び 東京2020参画プログラムについて

目次

- 1. アクション&レガシープラン2017 概要**
- 2. 東京2020フェスティバル（仮称）の方向性**
- 3. 夏へ向けた機運醸成についての概要**
- 4. 東京2020参画プログラムの現状と活性化**

1. アクション&レガシープラン2017 概要

全体概要

			概要
Part A	本文	第一章：はじめに	アクション&レガシープランの全体像
		第二章：スポーツ・健康	各章の基本的な構成 ・レガシー：2020年以降を見据え、何を後世に残すべきか ・アクション：実施されたアクション及び、レガシー創出の為に取組まれているアクション及び行うべきアクション（主な例） （レガシー及びアクションの前提となる「基本的な考え方」や「現状と課題」については、2016年を参照として本年度版では省略）
		第三章：街づくり・持続可能性	
		第四章：文化・教育	
		第五章：経済・テクノロジー	
		第六章：復興・オールジャパン・世界への発信	
		第七章：東京2020参画プログラム	東京2020参画プログラムについて記述
		第八章：東京2020フェスティバル（仮称）	東京2020フェスティバル（仮称）について記述
Part B	一覧表	アクション一覧	政府、東京都、被災3県、JOC、JPC、経済界、組織委員会等のアクション一覧を記載
Part C	一覧表	参画プログラム認証事業一覧	東京2020参画プログラムにおいて認証された事業の事例を紹介

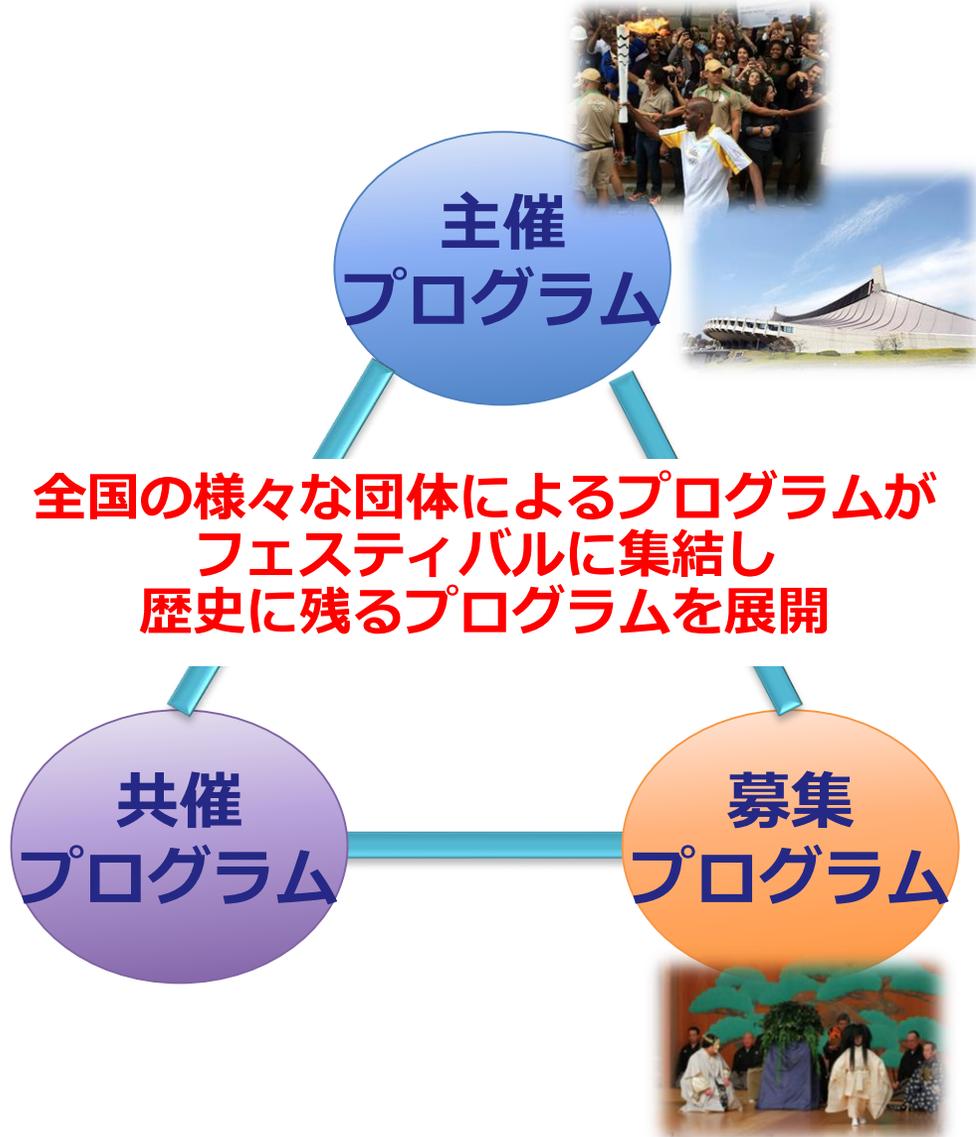
2016年版からの主な変更点

- 全体構成として、本文とアクション一覧及び参画プログラムの認証事業一覧の三部構成に変更。
- 本文については時点更新及び「東京2020参画プログラム」「東京2020フェスティバル（仮称）」について追記。2章以降の「基本的な考え方」「現状と課題」については省略。
- アクション一覧については時点更新。参画プログラムの事業については各事業毎に1枚ものを作成。

2. 東京2020フェスティバル（仮称）の概要

名称	東京2020フェスティバル（仮称）
会期	2020年4月頃から9月頃まで
目的	<ul style="list-style-type: none">● 東京2020文化オリンピックアードの集大成として、4つのレガシーコンセプトの実現（①日本文化の再認識と継承・発展、②次世代育成と新たな文化芸術の創造、③日本文化の世界への発信と国際交流、④全国展開によるあらゆる人の参加・交流と地域の活性化）を目指す。● 東京2020大会の前から国内外におけるオリンピック・パラリンピックの機運を最大化する。また、オリンピック・パラリンピックの間をパラリンピックムーブメント期間とすることにより、オリンピックの盛り上げをパラリンピックにつなぐ。

2. 東京2020フェスティバル（仮称）の事業体系



<主催プログラム>

- 組織委員会が主導し、大会と連動するプログラムを実施

<共催プログラム>

- 東京2020大会を象徴するプログラムを政府、東京都、地方自治体、文化芸術団体等と共に実施

<募集プログラム：全国地方自治体や文化芸術団体等>

- 地方自治体や文化芸術団体などが実施する、一定の要件を満たすプログラムがフェスティバルに参加できる仕組みを構築

2. 東京2020フェスティバル（仮称） 主体ごとのプログラムの方向性（イメージ）

主体	プログラムの方向性
組織委員会	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 大会と連動するプログラムを中心に実施（※） <ul style="list-style-type: none"> ✓ 東京2020大会を象徴する歴史に残る大規模プログラム ✓ 聖火リレー等、大会イベントと連携したプログラム ✓ オリンピックとパラリンピックが融合したプログラム（障がい者芸術等） ✓ I O Cとの連携プログラム（国際交流）
政府	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 日本文化全体を活性化するためのプログラムを推進
東京都	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 東京都が大会に向けて実施する様々な文化プログラムのうち、多様な文化芸術等を国内外にP Rするプログラムなど、フェスティバルのコンセプトに合致するものを実施
地方自治体・文化芸術団体等	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 東京2020大会を機に、多様な文化芸術等を国内外にP Rするプログラムを推進

※それぞれのプログラムは参画プログラムの各分野（スポーツ、教育、テクノロジー等）とも連動しながら検討。実施に関しては、今後の予算状況による。

3. 夏へ向けた機運醸成について

～概要～

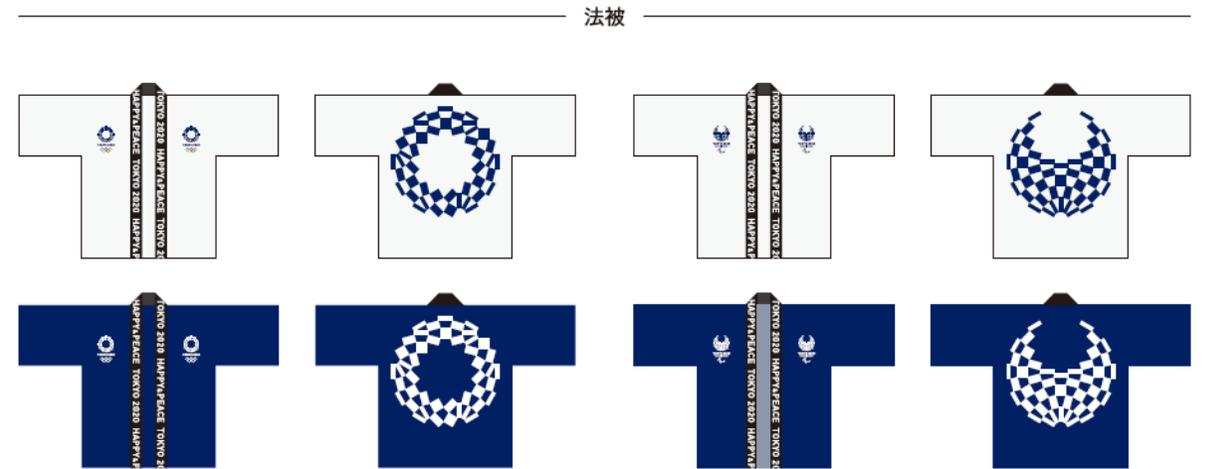
2020年まで、あと夏は3回。

今年の夏は、東京都、国、会場関連自治体、スポンサー、その他を含め日本全国で大会に向けた機運を醸成していきたい。

- 大会エンブレムを使った法被、うちわ。
- 同時期に各地で行われる3年前イベント、全国フラッグツアーとの横の連携。
- 全国で行われる夏祭りでも、大会と関連付けて盛り上げる。
- 参画プログラムも「3 Years to Go!」として、特別マークを用意。
- 今後の1000日前イベント、来年の平昌大会などとの縦の連携。
- 公式SNS等に、多くの方々に参加頂き情報を発信する。

3. 夏へ向けた機運醸成について ①

～ この夏！「法被・うちわ」で全国夏祭りを盛り上げたい！ ～



法被 一般販売価格 1着 5500円 (税込)



うちわ 一般販売価格 2本セット 300円 (税込)

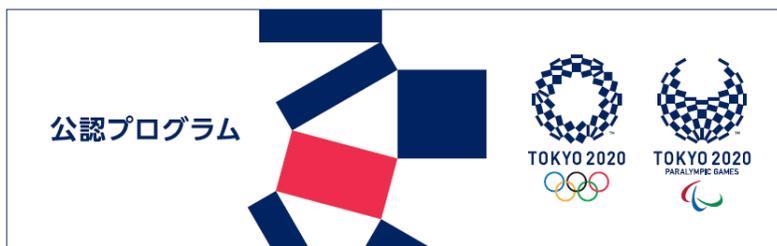
7月3日(月)より、東京2020オフィシャルオンラインショップ他にて、一般販売を開始しております。その他の詳細等については、公式ホームページでお知らせいたします。<https://tokyo2020shop.jp/>なお、一般販売に先駆け、全国の商工会議所などに夏祭りでの活用をお願いし、既に、うちわは14万本以上の申込をいただいております。

3. 夏へ向けた機運醸成について ②

～ みんなで参画! & みんなでつながる! ～



参画プログラムは、本年4月現在で約9000件のつながりをもたらしました。2017年7月20日(木)より応援プログラムの対象団体を拡大します。地域の皆様からの参画をお待ちしております。



3 Years to Go!



3 Years to Go!

東京2020大会3年前を機に、『3 Years to Go!』入りの参画プログラムのマークを展開します(7～9月に展開)。全国で展開される夏祭り・イベント等に使用していただき、機運醸成に繋げていきます。

3. 夏へ向けた機運醸成について ③

応援プログラム（夏祭り）について

- 東京2020大会に向けて、日本の伝統文化である夏祭りを絡めた、機運醸成施策を展開。
- 夏祭りを応援プログラムとして認証するために、夏季限定の専用のガイドライン（2017年度版）を策定。ガイドラインには以下の内容を記載。
 - ・ 協力者・後援者等の条件を一定の条件で緩和
 - ・ マークを使用しない広告等媒体では、パートナー以外の営利団体を露出可能
 - ・ マークを使用する広告等媒体では、パートナー以外の営利団体を露出不可
 - ・ 会場における飲食店等の出店

3. 夏へ向けた機運醸成について ③

応援プログラムとして認証した夏祭りの例

○7月29日「第38回品川区民まつり大会 荏原第三地区」

(品川区区民まつりの様子)

場所：品川区立京陽小学校

主催：品川区青少年対策地区委員会連合会

○7月29日「立野地区区民館運営委員会
第31回夏まつり（盆おどり）」

場所：練馬区立立野小学校

主催：立野地区区民館 運営委員会



○8月5日・6日「みんな集合！大盆踊り大会2017」

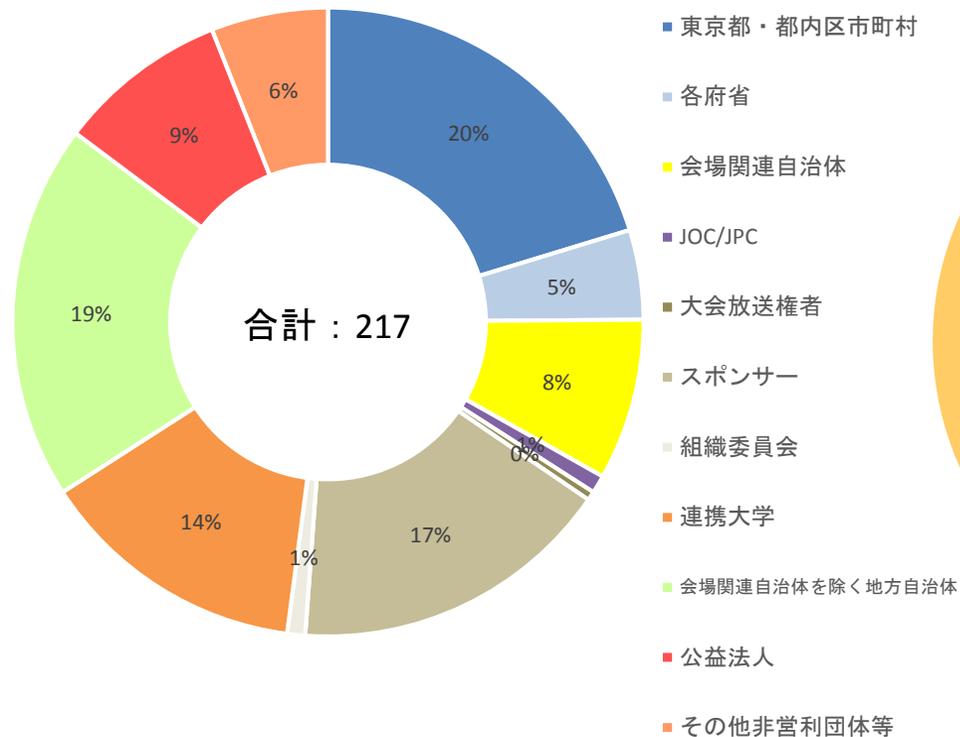
場所：江東区文化センター

主催：公益財団法人江東区文化コミュニティ財団、東陽四丁目連合会

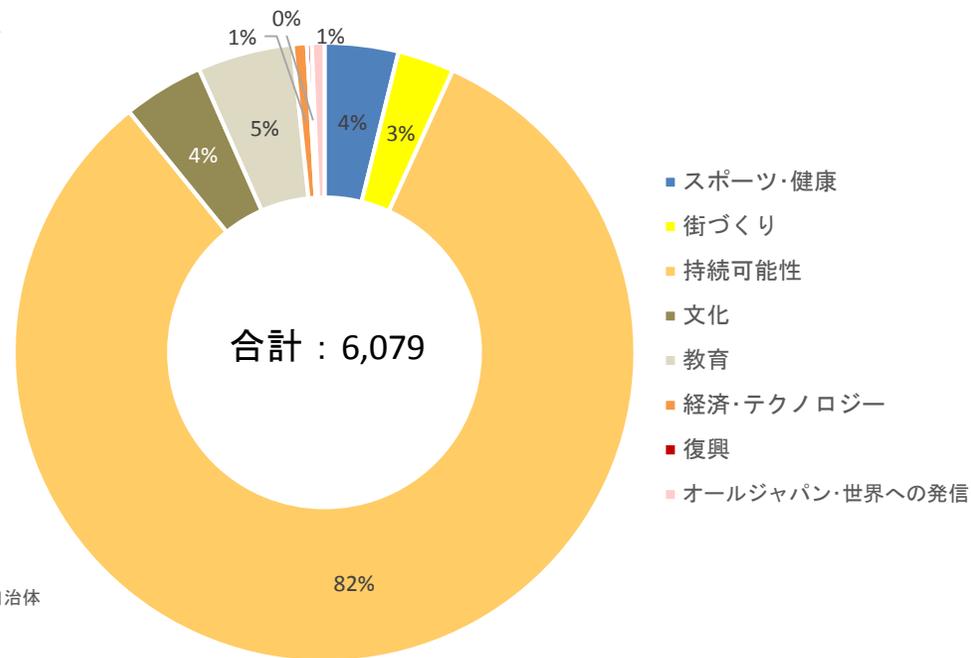
4. 東京2020参画プログラムの現状①

- 2016年5月末時点で217の団体が主体登録を実施し、6,079件のアクションが認証されている。教育プログラム実施校は3,731校となり、東京2020参画プログラムの認証件数は全体で約10,000件。アクションの参加人数は約280万人となっている。

主体登録数



認証済み件数



都道府県別学校認証数

都道府県	学校数	都道府県	学校数
岩手県	4	山梨県	6
宮城県	23	静岡県	4
山形県	9	京都府	50
茨城県	12	大阪府	2
栃木県	41	兵庫県	6
群馬県	2	奈良県	1
埼玉県	288	広島県	7
千葉県	207	福岡県	13
東京都	2,327	長崎県	22
神奈川県	680	熊本県	22
石川県	5	合計	3,731

※各データは5月31日時点

4. 東京2020参画プログラムの現状②（東京2020大会に繋がる事例）

持続
可能性

都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト！



- 実施期間： 平成29年4月～平成31年春頃（予定）
- 場所：参加自治体（933自治体）、全国のドコモショップ（約2,400店舗）
- 体制： 東京2020組織委員会・NTTドコモ・日本環境衛生センター・環境省・東京都
- 内容： 金・銀・銅のメダル製造に、全国から「国民参画」によって回収した小型家電から抽出した金属を使用する取組み

4. 東京2020参画プログラムの現状②（東京2020大会に繋がる事例）

教育

東京2020大会マスコットデザイン募集



- 募集期間： 平成29年8月1日～14日
- 内容： 最終審査として全国の小学校のクラスごとに投票を行い、最も得票の多いデザインで決定。
来年3月頃の発表を予定。（ネーミングの決定は来年夏頃の予定）

4. 東京2020参画プログラムの活性化（スポーツ・健康）

- 運動会の活用（パラスポーツ・東京2020大会新種目を取入れた運動会、地域の学校の合同運動会、特別支援学校との共同運動会「地域のオリパラ運動会・応援合戦」）
- 1人1アスリート運動（アスリートに対し学校で応援メッセージを寄せ書き。選手村で寄贈。ホームページでの掲載。アスリートからの返事。）
- 自己ベストサイト（あらゆる人の自己ベストを募集するサイト。例えば、初めてマラソンを完走したなど。）
- 種目別アイデア募集（競技種目を盛り上げるためのアイデア募集。例えば、その競技を知ってもらうための体験教室。）
- 競技会場に親しみを持ってもらうイベントの検討（競技会場を使用したトライアルゲームなど）



4. 参画プログラムの活性化アイデア（その他分野）

分野	内容
文化・教育	<ul style="list-style-type: none">・「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」との連動企画 ⇒ リサイクル金属以外の様々な部品を使い、アート作品を作るワークショップ・「小・中学生ポスター募集」との連動企画 ⇒ 大会と連動し作品を様々な場所で展示 ⇒ 優秀作品作成者がキュレーションし展示会を実施・オリンピック・パラリンピックをテーマ作品制作（映像・アニメ・モニュメント等）・1964レガシーである「オリンピック音頭」を活用した事業（音楽や踊りをアレンジ）・藍色や市松模様をフラッシュモブなどで活用
街づくり・持続可能性	<ul style="list-style-type: none">・スポーツゴミ拾い（ゴミ毎にポイントを設定し、ゴミ拾いを競うイベントの呼びかけ例えば、本イベントに専門委員等に任意参加していただき、取組を全国に広めてもらう）・ゴミアート（廃棄物でアート作品作成を呼びかけ 例えば、大会時の廃棄物や仮設会場建設での廃棄資材を有効活用し、アート作品を創造）・サイネージ（例えば、競技会場周辺の利便性を大会通じてさらに向上させるために地元学生から大会時のサイネージ案を募集）・バリアフリーマップ（例えば、競技会場周辺のバリアフリーマップの作成を小中学生に呼びかけ、その後地域の公園に掲載）・大会で使用した資材等の活用（例えば後の大規模スポーツイベント等で、大会で使用したケーブルやごみ箱等の活用）

4. 参画プログラムの活性化アイデア（その他分野）

分野	内容
経済・テクノロジー	<ul style="list-style-type: none">• 地域の魅力を発信する映像作品の募集（ホストタウンの魅力を発信等）• 高臨場感技術やインタラクティブなコミュニケーション技術を活用した競技観戦• テクノロジーを活用したパラスポーツ体験（VRやIoTによる新しいスポーツ体験等）• トップアスリートの動きを体感（パワースーツによる体感、ロボットによるデモ等）• 東京2020大会の競技をテーマとしたロボコンを開催（ロボットボッチャ大会等）• 日本の最先端の技術を体験できるショーケースを実施
復興・オールジャパン・世界への発信	<ul style="list-style-type: none">• 全国のご当地PR映像の募集・発信（全国都道府県から募集し、大会開催時にジャパンハウスなどで発信）• 県産品活用の検討（会場等での地元産品の活用を検討）• ポスター企画（小中学生からポスターを募集。大会時に選手村等で活用。例えば、各国・競技などをテーマにしたポスターを募集し、選手の部屋に飾るなど）• 子供レポーター（児童・生徒が東京2020大会時にレポーターとして大会の会場内の様子や選手、大会のスタッフなどを取材。例えば、組織委員会HP等で情報を発信）• 被災地から世界に向けたメッセージの発信（被災地の競技会場等で復興支援への感謝のメッセージ、復興の状況、東北の伝統芸能などを発信）



東京2020大会入賞メダルについて

入賞メダルについて

基本的な仕様（IOC Protocol Guide/Guide on Paralympic Protocol and Paralympic Family Services）

- ・ 大きさ（オリンピック・パラリンピック共通）
直径70-120mm／重さ500-800g／厚さ3-10mm
- ・ デザイン

オリンピック

おもて面：パナシナイコスタジアム
に立つニケの像・大会名
裏面：大会エンブレム・競技名

パラリンピック

大会のビジョンやルックと合うように
すること（これ以外の規定は特になし）
※音が鳴る仕組みなどの工夫（リオ大会）

製造開始へ向けたスケジュール

- ・ 2017年4月～原材料にリサイクル金属を活用するため、小型家電の回収を開始
- ・ 製造：今秋に向けて製造業者を決定
- ・ デザイン：今年度中を目途に選定する予定 選定方法は検討中

(参考) 過去4大会入賞メダル

■オリンピック

北京(2008) 70mm/-/-

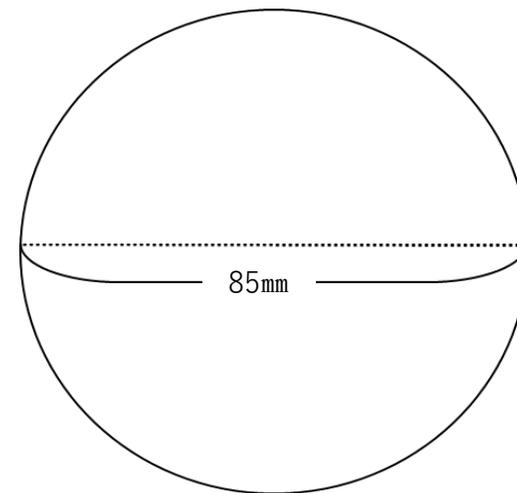


ロンドン(2012) 85mm/375-400g/7mm

リオ(2016) 85mm/500g/10mm



東京(2020)85mm/500g-/10mm



■パラリンピック

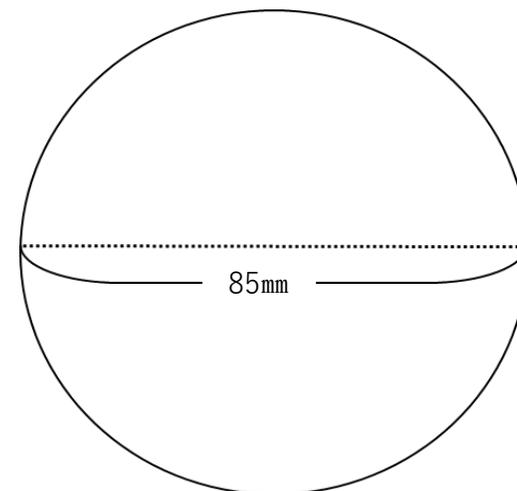
ロンドン(2012)



リオ(2016)



東京(2020)85mm/500g-/10mm



アスリートの皆様へのお願い

- 入賞メダルに関して、ご意見・ご要望をいただきたい
(今後、製造やデザイン選考の過程で、参考にさせていただきます)
- アスリートの皆様の間で、このプロジェクトへの協力の輪をつなげてほしい



アスリート委員会が関係する 大会準備活動について

ワーキンググループ2の活動報告について 1 - (1)

1. 選手村の計画に関するレビュー

(1) 居住スペースに関するレビュー

2016年12月 8 日 (木)

2016年12月16日 (金)

2016年12月22日 (木)

◆リビング

◆寝室

◆バスルーム

◆過去大会からの知見

14名のアスリートから
コメントや意見を集約

【オリンピック】

池田信太郎 (バドミントン：北京、ロンドン)

伊藤華英 (水泳：北京、ロンドン)

齋藤里香 (ウエイトリフティング：北京)

谷本歩実 (柔道：アテネ、北京)

萩原智子 (水泳：シドニー)

松田丈志 (水泳：アテネ、北京、ロンドン、リオ)

松本弥生 (水泳：ロンドン、リオ)

【パラリンピアン】

浅川信正 (馬術：ロンドン)

大日方邦子 (スキー：リレハンメル～バンクーバー)

河合純一 (水泳：バルセロナ～ロンドン)

佐藤圭太 (陸上：ロンドン、リオ)

田口亜希 (射撃：アテネ、北京、ロンドン)

廣瀬隆喜 (ボッチャ：北京、ロンドン、リオ)

山田拓朗 (水泳：アテネ、北京、ロンドン、リオ) 【敬称略：50音順】

ワーキンググループ2の活動報告について 1 - (2)

1. 選手村の計画に関するレビュー

(2) 初期マスタープランとコンセプトに関するレビュー

2017年2月10日 (金)

<参加アスリート>

【オリンピック】

池田信太郎 (バドミントン : 北京、ロンドン)

【パラリンピアン】

河合純一 (水泳 : バルセロナ~ロンドン)

田口亜希 (射撃 : アテネ、北京、ロンドン)

【敬称略 : 50音順】



ワーキンググループ2の活動報告について 1 - (3)

1. 選手村の計画に関するレビュー

(3) 会場計画におけるレビューと現場視察

2017年3月7日 (火)

<参加アスリート>

【オリンピック】

池田信太郎 (バドミントン：北京、ロンドン)

上山容弘 (トランポリン：北京、ロンドン)

【パラリンピアン】

河合純一 (水泳：バルセロナ～ロンドン)

田口亜希 (射撃：アテネ、北京、ロンドン)

【敬称略：50音順】



ワーキンググループ2の活動報告について 2

2. POT (Plan One Team) 会議

サービスレベルプランニング (討議参加)

2017年3月30日 (木)

<参加アスリート>

【オリンピック】

池田信太郎 (バドミントン : 北京、ロンドン)

上山容弘 (トランポリン : 北京、ロンドン)

【パラリンピアン】

河合純一 (水泳 : バルセロナ~ロンドン)

田口亜希 (射撃 : アテネ、北京、ロンドン)

【敬称略 : 50音順】



ワーキンググループ2の活動報告について 3

3. 国立スポーツ科学センター視察

トレーニング施設の検証

2017年4月13日（木）

<協カアスリート>

【オリンピック】

池田信太郎（バドミントン：北京、ロンドン）

上山容弘（トランポリン：北京、ロンドン）

【パラリンピアン】

河合純一（水泳：バルセロナ～ロンドン）

田口亜希（射撃：アテネ、北京、ロンドン）

【敬称略：50音順】

<協力団体>

独立行政法人 日本スポーツ振興センター



ワーキンググループ2の活動報告について 4

4. IPCアスリートフォーラムでの アンケート調査実施

サービスレベルのプランニングに関する
ミニアンケート調査を実施

2017年6月8日（木）～11日（日）

38名の海外アスリートから調査結果を回収

※ 集計・分析中（近々フィードバック予定）

<協カアスリート>

【パラリンピアン】

河合純一（水泳：バルセロナ～ロンドン）

<協力団体>

日本パラリンピック委員会（JPC）



ワーキンググループ2の活動報告について 5

5. 今後の活動予定

- 7月下旬 第2回 国立スポーツ科学センター視察 <対象：選手村、パラ統合>
POT会議 <IPCアスリートフォーラム アンケート調査 結果報告>
選手村レクリエーション施設に関する意見交換
- 8月上旬 第2回 NOC Open Days 参加 <参加NOCとの意見交換>
- 8月下旬 第1回 NPC Open Days 参加 <参加NPCとの意見交換>
- 9月中旬 第3回 国立スポーツ科学センター視察 <対象：選手村>
- 12月中旬 第4回 国立スポーツ科学センター視察 <対象：飲食>
- 2月下旬 第5回 国立スポーツ科学センター視察 <対象：スポーツ>



スポーツプレゼンテーションについて

1 スポーツプレゼンテーションとは

主に会場内の競技エリア周辺で実施される「競技進行+会場演出」のこと

例えば…

- 選手入場の際、選手にスポットライトを当て、演出用照明や音楽で会場の雰囲気を作り上げる



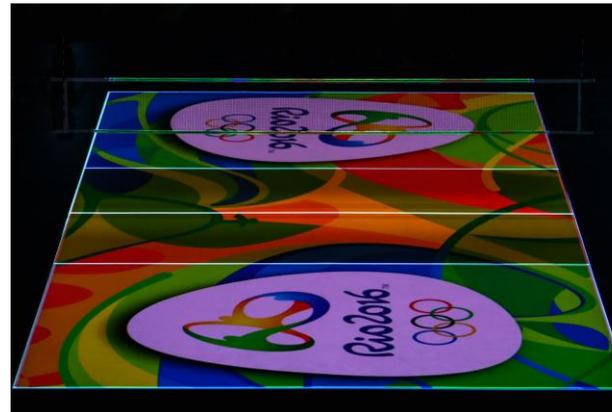
- ビデオボードに競技映像を映し、遠い観客席からも競技が見えるようにする

1 スポーツプレゼンテーションとは

- 映像とアナウンスで観客を盛り上げ、その様子を観客用カメラで映す
- ハーフタイム中のマスコットによる盛り上げ



- プロジェクションマッピングによる演出
大会エンブレムや対戦国の国旗を投影



2 スポーツプレゼンテーションの目的

(1) アスリートファーストの実現

- **「選手のベストパフォーマンス」**を引き出すため、選手が集中できる雰囲気・環境を作り上げる

(2) 観客の競技理解の促進

- 最低限の知識（ルール、選手情報等）の **「教育」**
- 見えないもの、聞こえないものの **「可視化」「可聴化」**
- 目の前で今何が起きているかを知らせる **「理解のアシスト」**

※オリンピック・パラリンピックは、競技のことをあまり知らない観客が来場する場合もあり、より丁寧な説明が必要

(3) 観客の盛り上げ

- 鼓舞し、楽しませる **「エンターテインメント」**
- 大会への参加を促す **「エンゲージメント」**

(4) 大会全体の統一感

- 日本特有の音楽・映像や日本の最先端技術を発信する **「文化発信」**

3 今回ご意見をいただきたい内容

(※SPR=スポーツプレゼンテーション)

今後、SPRのコンセプトを策定し、各競技のSPR実施内容を決めるにあたり、下記内容についてご意見をいただき、参考とさせていただきます。

- ①今まで経験した大会で、印象に残っているSPR
- ②アスリートにとってやめてほしいSPR
- ③SPRに取り込むべき要素（競技紹介、過去大会名場面、等）やアイデア
- ④日本らしいSPRにするために盛り込むべき要素
（過去に経験した大会で、その国の文化が反映されていたSPR）
- ⑤アスリートファーストのSPRとは
- ⑥アスリートの立場からSPRに期待するもの